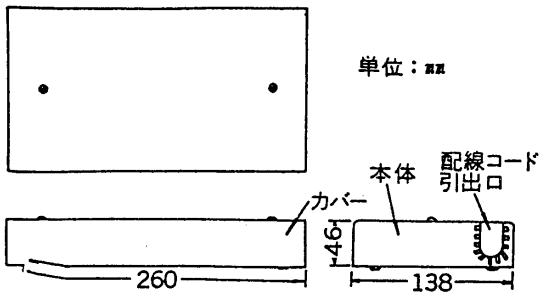
TOSHIBA

東芝インターホン取扱説明書

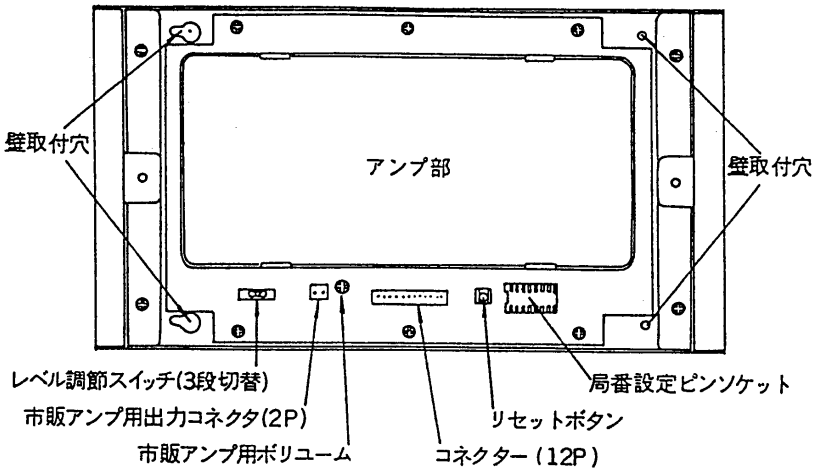
一斉放送アダプター　BTC1081

このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お求めのインターホンを正しく使つていただくため、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、必ず保存してください。

各部のなまえ



■ カバーをはずした場合の本体内部概要図

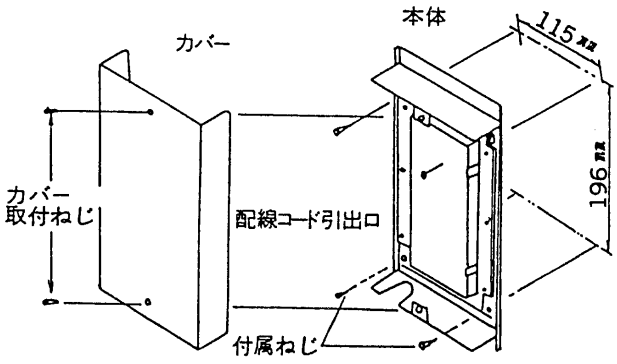


仕様

- 電　　源　DC24V
- 消費電流　待受時 20mA、一斉放送時 40mA
- 設置形式　卓上・壁掛兼用形、屋内専用
- 使用周囲温度　−10℃〜50℃
- 外観材質　鋼板 t＝1、SPG−1
- 色　　調　グリーン
- 重　　量　1.1 kg
- 付属品　木ねじ φ4.1×32 … 4本
  コネクター 12P … 1 、 2P … 1
  セットピン … 1
- 組み合わせて使用できるインターホン　BTC1001、BTC1101

設置のしかた

- 本装置は卓上、壁掛兼用形です。
- 壁掛形で使用する場合は、カバーをはずし、付属の木ねじ（4本）で固定してください。



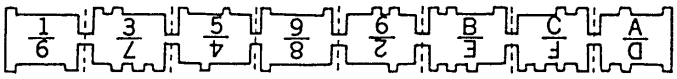
設置時の調節

■ 一斉放送アダプターの局番設定

（グループ一斉放送をする場合のみ局番設定します。）

① アダプターナンバーは接続例1に従ってください。

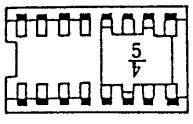
② 付属品の局番設定ピンは、8連ピンが1本入っていますので、1個ずつ折り曲げて切り離してください。



③ 本体内部にある局番設定ピンソケットの右側に1の位のピン番号を選んで、はめ込んでください。

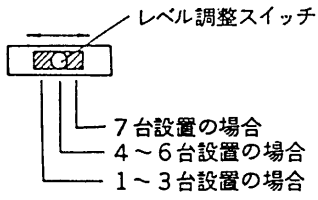
④ 10 の位は0ですので、ピンを入れる必要はありません。

局番設定ピンソケット



例）05番
インターホン局番50〜59にグループ一斉放送をする場合。

■ 一斉放送アダプターの接続台数により、レベル調整スイッチを図のように切り替えてください。



■ 市販のアンプに接続して一斉放送する場合、市販アンプ用ボリュームにより適切なレベルに調節してください。

■ 電源投入後にアダプターナンバーを変更した場合、電源を一旦切るか、リセットボタンを押してください。

<生産完了 2004年01月01日>

接続のしかた

接続例１（グループ一斉放送、全局一斉放送の場合）

- 一斉放送アダプター（BTC1081）は各グループ毎（インターホン１０台まで）に１台必要です。
- 電源ライン①、②、通話ライン③～⑧については接続例１～３を参照してください。

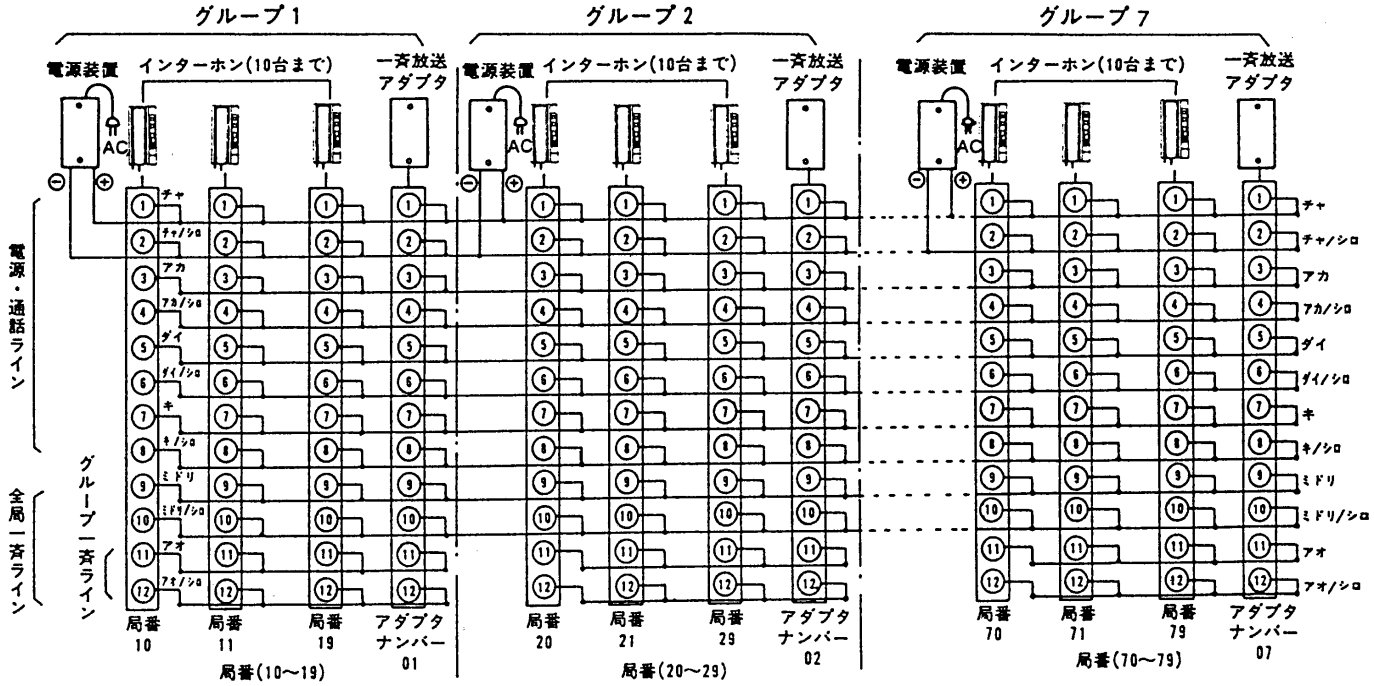
①グループ一斉放送だけの場合

グループ内において⑪（青）と⑫（青／白）の配線が必要です。⑨、⑩の配線は不要です。グループ一斉放送の必要がないグループは⑪、⑫の配線は不要です。

②全局一斉放送の場合（全局一斉放送の接続をしますとグループ一斉放送もできます。）

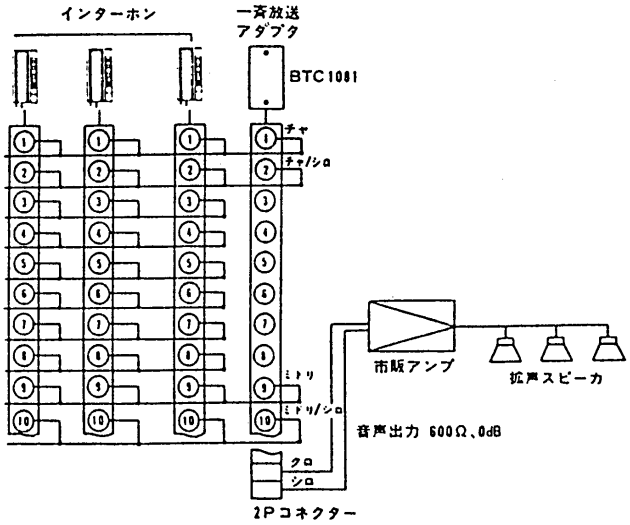
- すべてのインターホン、一斉放送アダプター間の⑨、⑩、および各グループ内で⑪、⑫の配線が必要です。
- 全局一斉放送を受けたくないところは⑪、⑫の配線は不要です。

③グループ一斉放送及び全局一斉放送の必要がないグループの配線は一斉放送アダプターが必要ありません。また⑨、⑩、⑪、⑫の配線も不要です。



接続例２（市販放送用アンプを通じて一斉放送する場合）

- 一斉放送アダプター（１台）をインターホンと接続してください。配線は４本（①、②、⑨、⑩）です。
- 市販アンプの電源は常時入れておいてください。
- 一斉放送アダプターからの音声出力（付属 2P コネクターにより出力を取れます。）をアンプへ入力してください。音声出力は600Ω、0dB となっています。コネクターの黒リード線をアンプ側不平衡入力のアースに接続してください。



修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源装置の電源プラグをコンセントから抜いて、お取り付けの工事店、お買いあげの販売店またはお近くの東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。

なお、ご相談されるときは形名（BTC1081）およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社　照明電材事業部　〒140 東京都品川区南品川2－2－13 南品川JNビル　TEL(03)5463－8777

(1032)A

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

＜生産完了 2004年01月01日＞